

仕事始め式での挨拶

H26.1.6(月)

皆さん、明けましておめでとうございます。

今年は、例年よりも少し長い正月休みでありました。皆さん、それぞれゆっくと休まれたのではないかと思います。

年末は雪もありましたが、元旦からの三が日は快晴で、良い年明けだったように思います。

私も近所の神社や出雲大社に行ってきましたが、普段より多くの方が参拝にいられたように思いました。

さて、日本経済を見ますと、昨年来、アベノミクスにより、緩やかですが回復の動きが見られます。

年頭の報道では、ある全国紙は、日本の主要企業の経営者30人のアンケートで、本年の景気は「緩やかに回復する」と見る人が6割になっている、としていました。

当地の新聞によりますと、山陰両県の主要企業約150社のうち、現在の景況について「良い」または「まあ良い」と答えた企業が約40%、これに「普通だ」とするものを加えると、約70%の企業が現況を肯定的に受け止めているとしていました。

しかし、本年の先行きについては、「改善する」が22%、「悪化する」が23%で、「変化がない」が37%でありました。

全体としては、東京などの大企業よりもなお慎重な見方が続いているように見られます。

政府は年末の予算編成で、4月からの消費税引き上げに対して約5兆円の経済対策を打ちました。

県の予算編成作業は、これから2月議会に向けて行われますが、政府の経済対策などに対応した対策や、消費税引き上げに伴う社会保障の充実等に、県としても取り組んでいかなければなりません。

そして、こうした当面の対策の上に、県経済を活性化し、雇用を増やすよう、今年も産業振興に全力をあげていかなければなりません。

ものづくり産業やIT産業の振興、中小企業対策、農林水産業支援、観光資源の活用、県産品の販路拡大、企業誘致、道路等の社会インフラの整備などに、粘り強く取り組んでいく必要があります。

さて、年末年始のテレビで皆さんも見られたと思いますが、出雲大社のことが多く取り上げられていました。昨年は大遷宮の効果で、本当に多くの方々に島根においでいただきました。

また、9月には隠岐ジオパークが世界認定されました。

そして石見地域にも、温泉や神楽といった魅力ある資源があります。

こうした島根が有する豊かな自然、古き良き文化や歴史などを全国の方々に知っていただける大きな流れが始まっているように思います。本当に有り難いことであります。

今年は、こうした良い動きが県全体に拡がり、さらに継続していくよう、県民の皆さんとともに、島根県のPRやキャンペーンに一層努めて行く考えであります。

そして、いつも言っていることですが、我々の前には、医療・福祉の確保、過疎・離島対策、青少年の健全育成、治安の確保、環境保全、昨年の災害からの復旧、そして原発問題など、多くの問題や課題があります。

こうした諸課題に県庁一体となって取り組んでいき、今年が県民の皆様にとりまして、明るく、活気のある年になりますよう、皆さん、一緒に頑張っていきましょう。

このことを皆さんにお願いいたしまして、私の年頭の挨拶といたします。

※当日は、この原稿を元に若干の修正を加えて挨拶を行っています。